日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会（sine１９９４）

第２４期・２巻　２０１８年５月号　ＮＯ．２０４

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

冬山登山・５０周年記念山行

春は山岳スキー三昧

山行ＮＯ．１７９４
２０１８．０４．２８
鳥海山（鉾立コース）

２０１８．０５．０９　　生協２Ｆ　　１５：３０～１７：００

１．山行報告

ＮＯ．１７９４－３	０５月０１日（火）	山岳スキー＝尾瀬・至仏山
ＮＯ．１７９４－２	０４月２９日（日）	山岳スキー＝月山
ＮＯ．１７９４－１	０４月２８日（土）	山岳スキー＝鳥海山
ＮＯ．１７９３－３	０４月２１日（土）	ハイキング＝松本・京ヶ倉
ＮＯ．１７９３－２	０４月２０日（金）	山岳スキー白馬乗鞍岳・船越ノ頭南尾根
ＮＯ．１７９３－１	０４月１９日（木）	山岳スキー＝頸城山塊・焼山北面台
	０４月１７日（火）	まったりハイク・松本・京ノ倉＝６名
ＮＯ．１７９２	０４月１４日（土）	ハイキング＝富士山・御殿庭
ＮＯ．１７９１	０４月０６日（金）	大菩薩嶺＝６名

２．今後予定（変更もあります）

０５月０６日（日）	例会
０５月１１日（金）～１２日（土）	山岳スキー＝白馬岳方面
０５月１４日（月）～１７日（木）	番外＝熊野古道・大雲取、小雲取越え
０５月１９日（土）	定例ハイク＝西丹沢・ブナ新緑鑑賞会
０５月２０日（日）	県連・専門部担当者会議と理事会＝静岡
０５月２６日（土）	アルパイン＝
０５月２９日（火）	まったりハイク＝奥秩父・小川山（**募集中**）
０６月０２月（土）	定例ハイク＝清掃登山・愛鷹山（アシタカツツジ）
06 月 08 日（金）～09 日（土）	お花見山行・稲包山・谷川岳＝現在６名＋１名（予定）
０６月１６日（土）	アルパイン＝
０６月２３日（土）	ハイクの日＝
０６月３０日（土）～１日（日）	全国連盟・遭難対策担当者会議
０７月１５日（日）	県連＝やま筋ゴーゴー体操講習会・・・沼津

車代は会で負担します。

県連理事会報告

２０１８年3月　４日（日）１５：００～１６：００　サンライフ藤枝

【理事出欠状況】

伊豆ＨＣ　鍋島　要（○）	あさぎり山の会：斉藤富夫（○）	安倍っ子山の会：竹本幸造（○）
三島労山：山口美恵子（○）	あさぎり山の会：福原勝治	安倍っ子山の会：渡邉敏弘（○）
裾野麗峰：後藤隆徳（○）	清水労山：小林幹郎（○）	ＮＭＣ　：森　英代（○）
駿東山の会：曽根敏之（○）	静岡労山：遠藤春代（○）	山登歩山の会：花澤秀治
沼津労山：植松久美子（○）	静岡労山：瀧　茂（○）	山の会ケルン：西森輝茂（○)）
ふじ山楽歩：加藤秀子（○）	焼津山の会：古本雪子（○）	浜松労山：後藤秀人（○

１．名簿の確認　　訂正版　別添付

２．　専門部担当者会議報告

① 組織部（清水：小林）　　欠席：麗峰、山楽歩、フレンズ

会員数の維持・拡大の取り組み

・ネームプレート　未作成３団体　引き続き展開する

・県連リーフレット　全国のものを活用する。全会名と事務所等の連絡先を入れる
写真等入れ替える

・ポスター作製　理事会に一任する
長期的な効果が期待できる
お金をかけず、県連（麗峰；後藤）で自作し各会に２~３枚配布し活用
掲載する連絡先を後藤さんまで　写真などもあったらデータを送る

退会動機のまとめ　２０１６年４月から２０１８年３月の２年間を調査　調査表配信

登山時報の購読数　興味がない、話題が広すぎるという声がある一方、カラーページが増え内容が充実してきた、全国の話題が分かるという声もあった。
安倍っ子：寄贈誌を半年～１年未購読者に渡し、次の年度の購読につなげている。各会２５パーセント以上の購読を

講演について　安全登山講習会を充てる

② 教育遭対部（山楽歩：加藤、麗峰：後藤）　欠席：ケルン、フレンズ、清水

事故検証　２０１７年度９件中３件が病気
パーソナル（レスキュー）カード　３～４会所持　カードの形式を知りたい
救急セットに入れている会も
病気への対処の心構えを持つ
クライミングでの事故
人工壁でのヘルメット着用⇒賛否ありヘルメットは落石・転倒等の頭部保護が目的
清水テルサ人口壁再開の話し合いで話題にはなったが義務付けなさそう
ロープ結びの他己確認を確実に
鹿島槍での死亡事故　会員ではないので、該当会で検証するが県連への報告はなし

安全登山講習会　１０月２８日（日）
山での病気への対処について予定全国連盟問い合わせ中

雪上訓練　１泊２日（候補日２月２日（土）～３日（日））
全国から講師を招き中級実技
富士山麓にこだわらず

「安全登山いろはカルタ」を作成＝見本を参考に各会で考案し、加藤部長に送る

３．　自然保護（ケルン：西森）　欠席会　麗峰、山楽歩、NMC、焼津、フレンズ

６月全国一斉清掃ハイク
１０月　自然保護デー　８団体実施山行決定
リニア　別添資料あり竹本会長

鹿の食害　山の状況を自分たちで観察し報告　　記入用紙を作り各会に配信
外来植物　調査に取り組む

３．各ブロック報告

＜東部ブロック＞（三島：山口）　　別紙添付します
＜中部ブロック＞（山登歩：花澤）
会計報告
行事確認　　１０/１４　ふれ愛ハイク　　１１/１８　ブロック合同清掃登山
交流クライミングは今期見送り
＜西部ブロック＞（浜松：後藤）
ブロック会議日程確認　　県連交流ハイクについては未定

４．財政部より

理事会交通費＝いままで相乗り者に車提供者の半額を出していたが、以後廃止する。

５．ベルクバハト隊より（浜松：曽根崎）

①隊員の更新等　連絡してほしい
②活動の在り方について　別紙資料配布済み
セルフレスキューの指導・技術交流会など意見はあるが　誰がやるのかが問題
方向性として、　１０月の安全登山講習会の実技版のようなものを年１～2 回
教育遭対部の下部組織とするか

６．平和行進　　19 日　三島２名、伊豆ハイク１名、焼津１名

７．山筋ゴーゴー体操講習会

会員外の参加も可　　講師料＝約５万円は、東部ブロック会計から支出

８．全国ハイキング集会

9 月 15 日（土）～16 日（日）
15 日午後　①伊豆ジオ　②歴史散策　③城山ハイキング　④発端丈山又は葛城山ハイキング

９．全国的な集会・会議予定

全国登山祭典「栗駒山」　　斉藤理事長・竹本会長まで
自然保護講座　「南アルプスを知ろう椹島集会」　　全国へ直接申し込み、参加者を募ってください
第 2 回「山の日」記念全国大会　　全国連盟 HP を見てください
全国登山研究集会　愛知県新城市県民の森
バンガロー１０００円、テント２００円　他に入浴料、食事代など

１０．その他

・山岳４団体山の日記念行事　写真　竹本会長まで出展数連絡
・**磐田ケルンが、今期（今期３５名）で県連を脱会する。理由は、「西部地区で横の繋がりがなく県連に入っている意味がない。脱会は数年前から検討していた。先日の総会にて満**

場一致で決定した」

へ・山行報告

山行NO　　ＮＯ．１７９２　　写真・文　ＧＴ

日　時　　２０１８．０４．１４（土）曇り

山　域　　宝永山・２３５２ｍ峰

コース　　須山登山口８：３１ー御殿庭上１１：００ー須山登山口１２：２３

標高差　　須山登山口約１３６０ｍ～御殿庭上約２１４９ｍ＝約７８９ｍ

〃

参加者　　ＧＴ、ＫＹ

登山道崩壊が凄まじかった

富士山・宝永山でした。悪天候で気温が低かった。
道々、いたるところで、土砂が押し出し、夏道は崩壊していた。
原因は３月の大雨。この時、須走・富士演習場内で作業をして
いた作業員が２名、濁流被害にあい亡くなっている。
富士山の雨・雪代の威力はすさまじく、かつて御殿場口でも
大きな被害があり、洞門が出来た。
結果、須走口道路は、連休の開通に間に合わないようです。

下ってくると、オジサンが一人、荒れた須山道を重機で整備していた。
聞けば、須山在住のＮ上Ｙ介さんだった。氏は６７歳。
「富士山須山口登山歩道保存会」の代表で、３月の大雨で荒れた登山道を、
ボラで整備をしているという。
仕事は農業で重機は不要だが、登山道保存のため、持って いるそうだ。
しかも、重機を運搬する、荷台がスライドするトラックも常備していた。
しかし、いくらボラとはいえ、ここまで入れ込むのは、なかなか大変である。

氏を激励し、再会を約し分れた。

Ｎ上Ｙ介氏

山行 NO.　まったりハイキング
日　時　　２０１８．０４．１７（火）晴れ
山　域　　松本・京ヶ倉（９９０ｍ）
コース　　登山口―見晴らし台―登山口
標高差　　登山口約６００ｍ～京ヶ倉９９０ｍ＝約３９０ｍ
　　〃
参加者　　６名

ヒカゲツツジを愛でる

山行NO　　ＮＯ．１７９３－１　　写真・文　ＧＴ
日　時　　２０１８．０４．１９（木）快晴
山　域　　頸城山塊・焼山（２４００ｍ）標高１７５０ｍまで
コース　　笹倉温泉発５：３０－空沢橋―池ノ平―標高１７５０ｍ１１：２５－笹倉温泉１４：５０
標高差　　笹倉温泉約４５０ｍ～焼山２４００ｍ＝約１９５０ｍ
　　〃
参加者　　ＧＴ、ＫＨ

焼山は遥かに遠かった

笹倉温泉発５：３０。天気は無風快晴高温。温泉上の橋から雪はあった。
厳しい林道を上る。雪が硬く、トラバースが多く苦戦。
標高約１１００ｍの大曲で若者に追いつかれる。若者は大曲でなく真っ直ぐ上っていった。
２５歳の彼は、結局、頂上に上り、１時間滞在。帰路、林道で我々を追い抜き、３０分早く温泉着。

話せば、ヨーロッパオートルートに経費節減の為、テント泊で行きたいと言っていた。（テンとは多分、認められていないと思いますが）
明日は、白馬だが、二股から猿倉に歩き（上り約５ｋｍ）２号雪渓辺りを滑りたいの弁には、
驚くと同時に、若い方は凄いと思った。

大曲がりから、広大な焼山北面台地を進む。気温が上がり暑く大汗を掻く。

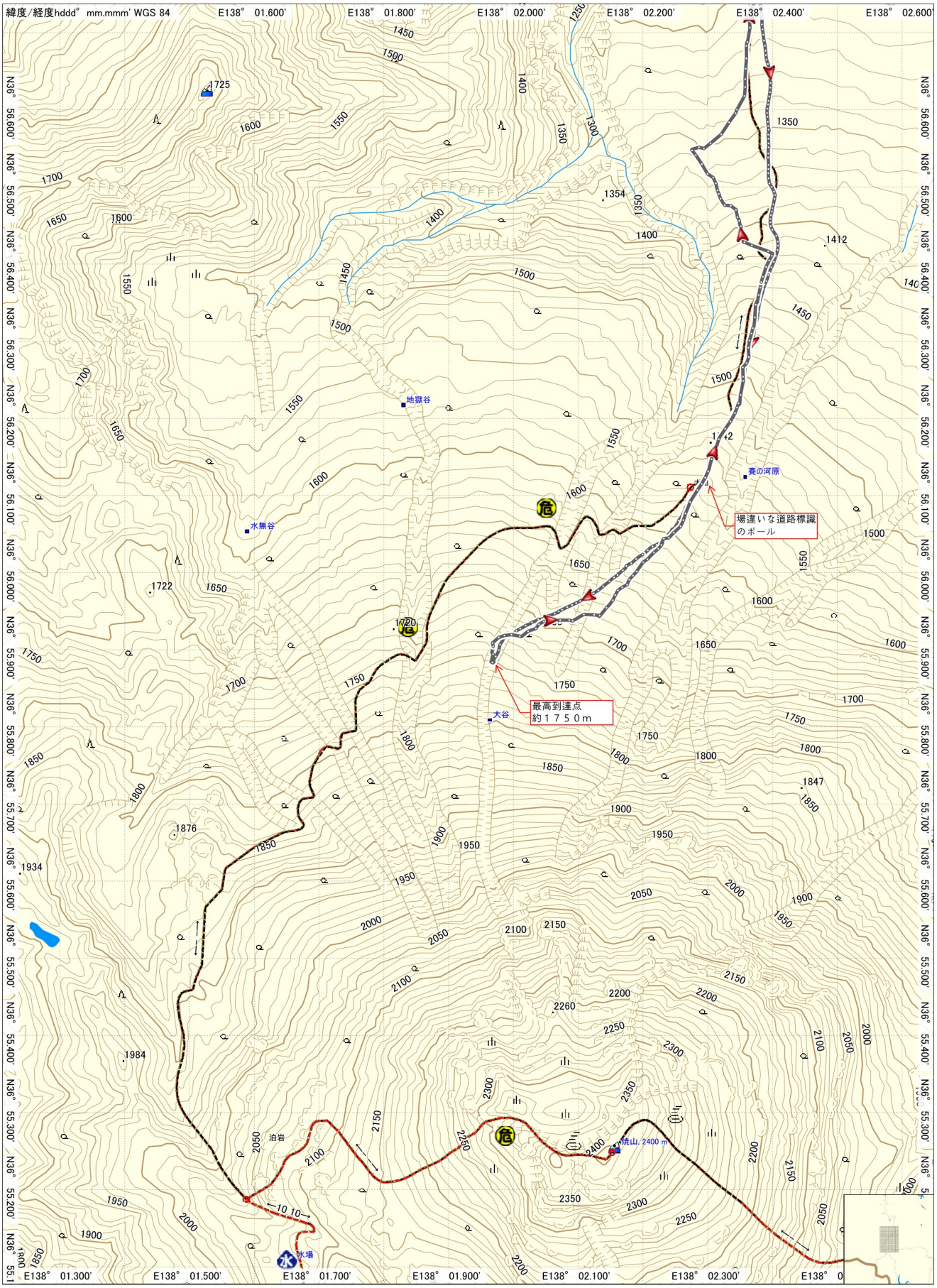
笹倉温泉上

シールが重く辛い上りとなる。焼山台地は、傾斜が緩くなかなか高度稼げなかった。
若い衆は、先行したらしい。雪上に新しい痕跡が続いていた。
ダラダラ上りが続き、高度は稼げない。
雪原に場違いなポールが立っていた。こんな山中に？？と思ったが、実はここ、夏は林道が伸びている。
その標識だった。
上りの予定時間が迫っていた。目安は１２時。標高は１７５０ｍ。
すでに６Ｈ歩いている。頂上まで、まだ６５０ｍ＝２Ｈ以上掛かる。

こんなに高度を稼げない山も珍しい。大曲でルートを誤ったことも大きい。
１１時３５分終了し滑降に入る。雪は期待の完璧な「ザラメ」でなかった。
やや、モナカっぽい感じだった。それでも滑降は楽しく嬉しい。
あっという間に大曲着。概ね上りコースを下る。下り切ると難しい錯綜した林道下りになる。

ＧＰＳと睨めっこで下る。途中で今朝の若い衆に抜かれた。頂上に
１時間滞在し、かつ我々を抜かすとは？？！！年齢を感じますね。
 滑りにくい林道をこなし、笹倉温泉着。桜が満開だった。

笹倉温泉は桜が満開


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
地獄谷
水無谷
大谷
賽の河原
泊岩
水場
焼山, 2400 m
場違いな道路標識
のポール
最高到達点
約１７５０ｍ
危
危
危
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2018/04/21 17:44:57
GARMIN

山行NO　　ＮＯ．１７９３－２　　写真・文　ＧＴ
日　時　　２０１８．０４．２０（金）快晴
山　域　　白馬乗鞍岳・船越ノ頭南尾根（約２３２０ｍまで）
コース　　栂池自然園駅発９：２２－栂池ヒュッテ９：３７－南尾根２３２０ｍ１１：４２－栂池山荘
　　１２：４３～１３：２０－栂池ゲレンデ－本滑降—栂池ロープウェイ
標高差　　自然駅約１８３０ｍ～約２３２０ｍ＝約４９０ｍ
　　〃
参加者　　ＧＴ、ＫＨ

栂池の懐でお気軽スキー

春山スキー
第二ラウンドは、白馬乗鞍岳＝船越ノ頭・南尾根。始発のイブで上る。
平日なので、登山者は少ない。ロープウェイを乗り継ぎ、栂の森着。
天気は風があり、気温が低かった。
白乗から船越がコースだが、昨日の疲れもあり、自然園経由とした。
栂池ヒュッテで白馬観光のＭさんと久しぶりに面会。小屋開けで忙しい毎日のようだった。

白馬観光のＭさんと

雪回廊

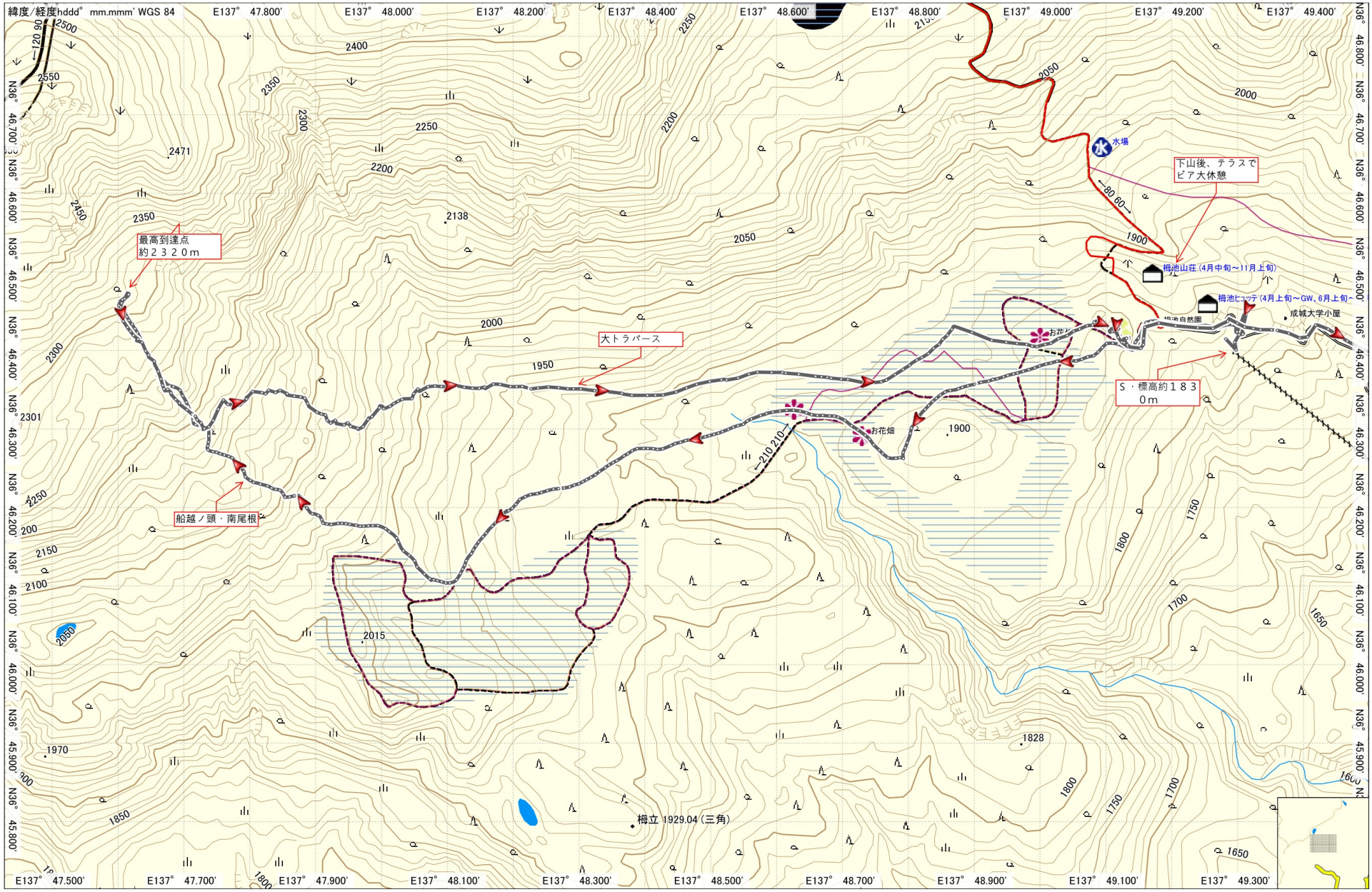
南尾根

若い三人組

同行者はなし。南尾根を目指す。昨日程、雪が重くなかった。
気温が１～２度違うだけで、随分、感じが異なる。
尾根を上って行くと、右手から３名上って来た。ちょっとした平坦地で合流。
若い衆が３名で全員、スプリット・ボードだった。しばし交流。

昨日、焼山をやったと言ったら、「それは、超・怪・異人だ」とからかわれた。
聞けば、これから船越ノ頭を越えて、白馬沢辺りを滑ると言った。滑降後
は猿倉から二股まで、約５ｋｍ歩くことになる。いやはや、若い衆は凄い、元気、驚異である。

３名が休んでいた上の標高約２３２０ｍで終了。
ここからイイ雪を滑った。サイコーだった。
ただ、標高１９００ｍ辺りからトラバースが多くなる。これは栂池自然園が平坦地で
歩くのがイヤだから、出来るだけスキーで下る様にした結果。
栂池山荘で大休憩。暖かい日差しが降り注ぎ幸せだった。ラーメンとビアが美味かった。
帰りは林道を飛ばしたと言いたいが、極めて滑りが悪く難儀。
途中でＭさんのモービルに抜かされた。グズグズのゲレンデを一本滑り終了。
まあまあ、楽しいツアーだった。



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2018/04/21 17:44:57

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN.

裾野麗峰山の会・山行報告

文・ＴＧ　　写真・ＴＧ、ＫＨ

山行NO　　ＮＯ．１７９４－１
日　時　　２０１８．０４．２８（土）快晴
山　域　　鳥海山・新山（２２３６ｍ）七五三掛まで
コース　　鉾立登山口発６：５５－鉾立コース－御浜小屋８：５４－扇子森—七五三掛１０：４７～１１：００－御浜小屋１１：４５～１２：０５－滑降開始—象潟コース－鉾立分岐—ブルーライン上１２：５０－ブルーライン（歩き）－鉾立駐車場１３：２０
標高差　　上り　鉾立駐車場約１１５０ｍ～七五三掛１８５０ｍ＝約７００ｍ
　　下り　　〃
参加者　　ＧＴ，ＫＨ

鉾立コースは厳しかった

昨年の５月連休は、新潟の山を三つ上った。いずれの山も低山の割に標高差があり厳しかった。今回は、久しぶりに山岳スキ—三昧。まずは、鳥海山まで長駆約６５２ｋｍ走る。
鳥海山の山岳スキーは、２０００年以来２回目。その時は、秡川コースだった。秡川は北面で雪質は良く、コースも短いので人気があるが、同じコースをやっても経験が積めないので、今回は強いて難しい鉾立コースを選択した。
鳥海山ブルーラインは、２７日が開通日。登山口にある、鉾立ヒュッテも２７日が初日だった。ヒュッテは素泊まり１８００－。有難く泊まらせて貰った。同宿者は、地元秋田の三人組と宇都宮のご夫婦。我々以外、ヒュッテから少し下った、吹浦コースを予定だった。しかし、後から分かったが、御浜小屋に上るには、こちらが単純で短く良かった。
ヒュッテは、親切で温かかった。私が出掛にストックが片方見つからなく拝借を申し出たら、気持ち良く貸してくれた。結果的には見つかったので、拝借はしなかったが。

鉾立ヒュッテ

鉾立登山口の雪壁

天気はサイコーに良かった。同行者はなし。鉾立コースは所々、雪が切れスキーを背負った。
新調したスキーは軽量なので、余り負担ではなかった。
溶岩で作った階段を上る。上は広大な雪原だった。雪は程よく締りシールは走った。
快晴な上、適当に赤布が入っているので迷うことはない。

鉾立コース

左に左に進み、上り切ると御浜小屋に出た。誰も居なかった。小屋南は夏ならば大きな鳥海湖があるが、まだ見えない。小屋東には、扇子森ピーク。ここも雪が切れているのでスキーは背負う。だた、帰りは北側を滑れた。
扇子森ピークから雄大な千蛇谷・新山を眺める。なかなか厳しそう。今回の山行は、千蛇谷の下降が大きなポイントだった。過去の記録でも皆さん苦労している。もっと良いルートはないものかと、扇子森北側を偵察したが、なかなか難しそうだった。

扇子森から鳥海山

再び岩階段を上る。この辺りで、歩きの単独行に抜かされた。彼は七五三掛から千蛇谷を行かず、外輪山を上って行った。
また、単独が上って来て抜かした。彼は夏道でなく右手の雪渓をスキーを背負って来た。
ルートを知っていた。この時期、雪が締まっているので歩いた方が速く楽だ。
彼はは七五三掛を進んだ。スキーはテレマークだった。
七五三掛は、北面でカチカチに凍っていた。しかも、可成りの急斜面で恐ろしい。ピッケルを車に置いて来た選択はマズかった。我々、山屋はストックは信頼がない。やっぱり、ピッケルなのだ。

千蛇谷の下降

千蛇谷降り口を見た。物凄い急斜面を５～６０ｍトラバースして谷に降りる。
テレマークのトレースは、１０ｍほど歩き、途中でスキーを履いたようだ。
しかし、こんな急斜面でテレマークは、スキーを履けるのだろうか。先行者は、我々を嘲笑うように、既に千蛇谷を上っていた。
どうにも踏ん切りがつかない。時間は既に１１時を回った。

千蛇谷・先行者が見える

いつもの習慣なら１２時にピークを踏まなければならない。頂上の新山まで、残りの標高差は約３６６ｍ。今、千蛇谷にいても、まだ１時間以上は掛かる。
そもそも、ここまで標高差約７２０ｍを４時間は、時間が掛かり過ぎではないか。
その理由は、コースが未知だった・岩尾根を歩いた・年齢・などが原因。
苦渋の決断だったが、今回はここで終わりにした。捲土重来である。
これが現在の我々の実力だった。ピッケルがあれば確実に行けるが、それをいっても始まらない。
しかし、再挑戦はあるだろうか。
　登頂は出来なかったが。鉾立コースを選択した悔いはなかった。
　新しい発見は多かった。山は常に新鮮な感動が必要なのだ。

七五三掛

下山は快適だった。御浜小屋までザラメを滑って昼食。
ラーメン・ビアが美味かった。

御浜小屋は多くのスキーヤー・登山者で溢れていた。多くの方はここまで往復の様だ。
ヒュッテで一緒だった宇都宮の方がいた。笙ガ岳に行くといっていたが変更したようだ。
ここから周遊道まで、標高差約５２０ｍの滑降は、いままでの憂さを晴らすような、超素晴らしく、快適な
スキーだった。やっぱり、北面のスキーはサイコーだ。
鉾立登山口に帰るには、相当、右方向に下る必要がある。しかし、手前に尾根があり、完全に鉾立コースには戻れない。
　末端まで滑ると、何やら網が張ってあった。左手からスキーヤーが２名、網に沿って歩いてきた。
　網は、転落防止のものだった。

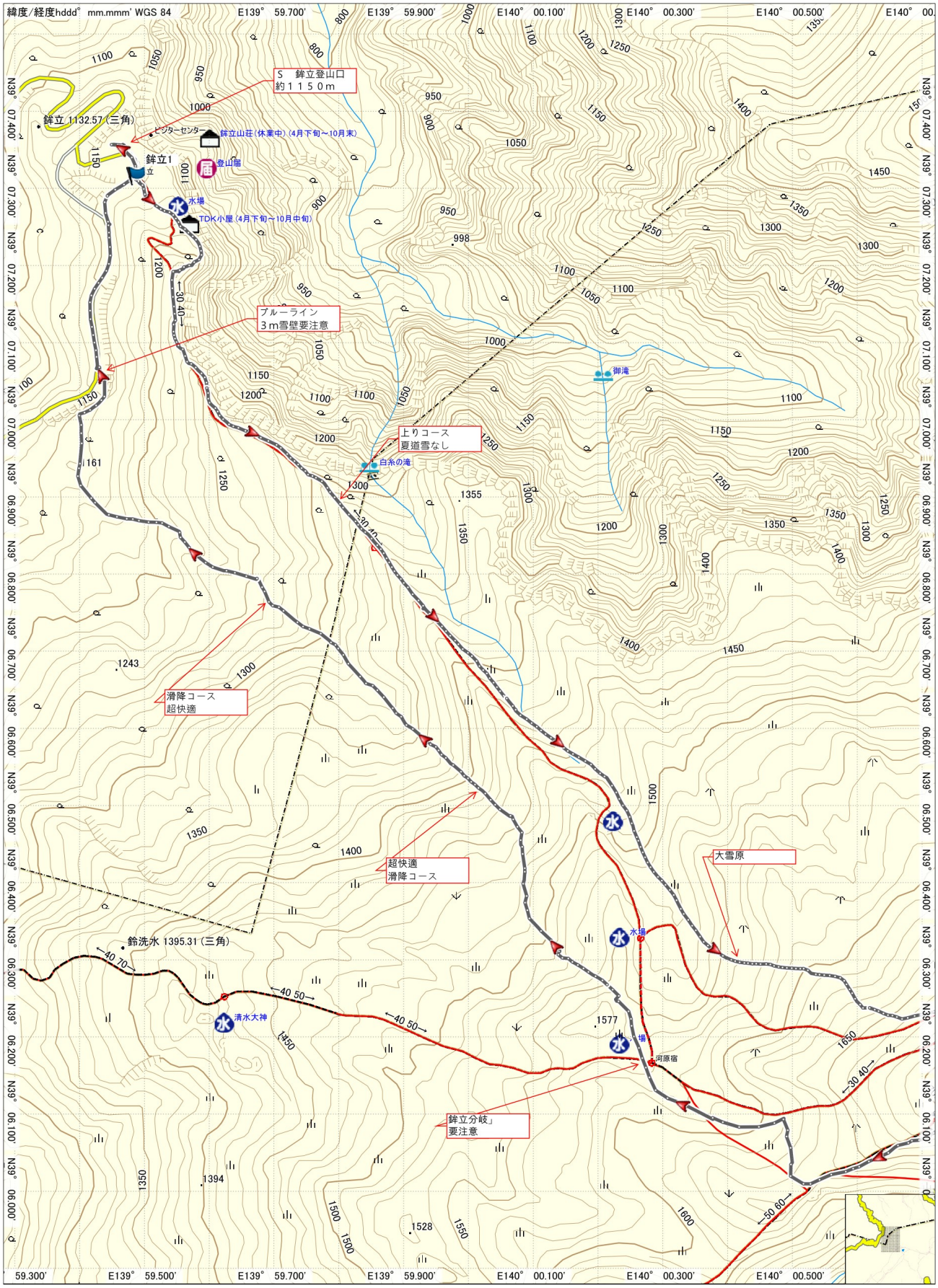
網の向こうは、鉾立に向かうスカイラインで、雪壁が３ｍほど落ちていた。天候が悪く転落したら大きな事故になりかなない。
断崖に沿って右に移動。この手のことが得意な相方が、ブッシュが垂れている場所を見つけ下りだした。
ところが、やっぱり可なりの壁で、なかなか難しい。
そこに丁度、若い衆が２名下からやってきた。 若い衆は、躊躇なく我々のサポートをしてくれた。
スキーとザックをあらかじめ下して、ブッシュを掴み降りる。下で足を支えてくれた。２人のお陰で無事
下降に成功。事なきを得た。

なんて気持ちの良い若い衆だろう。若い衆といっても６０前の２名だった。宮城から来たという。スキーと
ボードだった。今回は結果的に各地で人情の機微に触れることが多かった。索漠とした世の中、まだまだ捨てたものではない。
先に歩いていた２名も最終壁で救済した。若い衆は、１日置いてまた祓川コースに来るといった。駐車場に帰り、お礼にビア２本上げた。
下山後、象潟に住むＫさんに会いに行った。Ｋさんは、１０数年目まで十里木の別荘地に住んでいた。
お元気そうで何よりでした。

怖い雪壁

他パーティーも救助

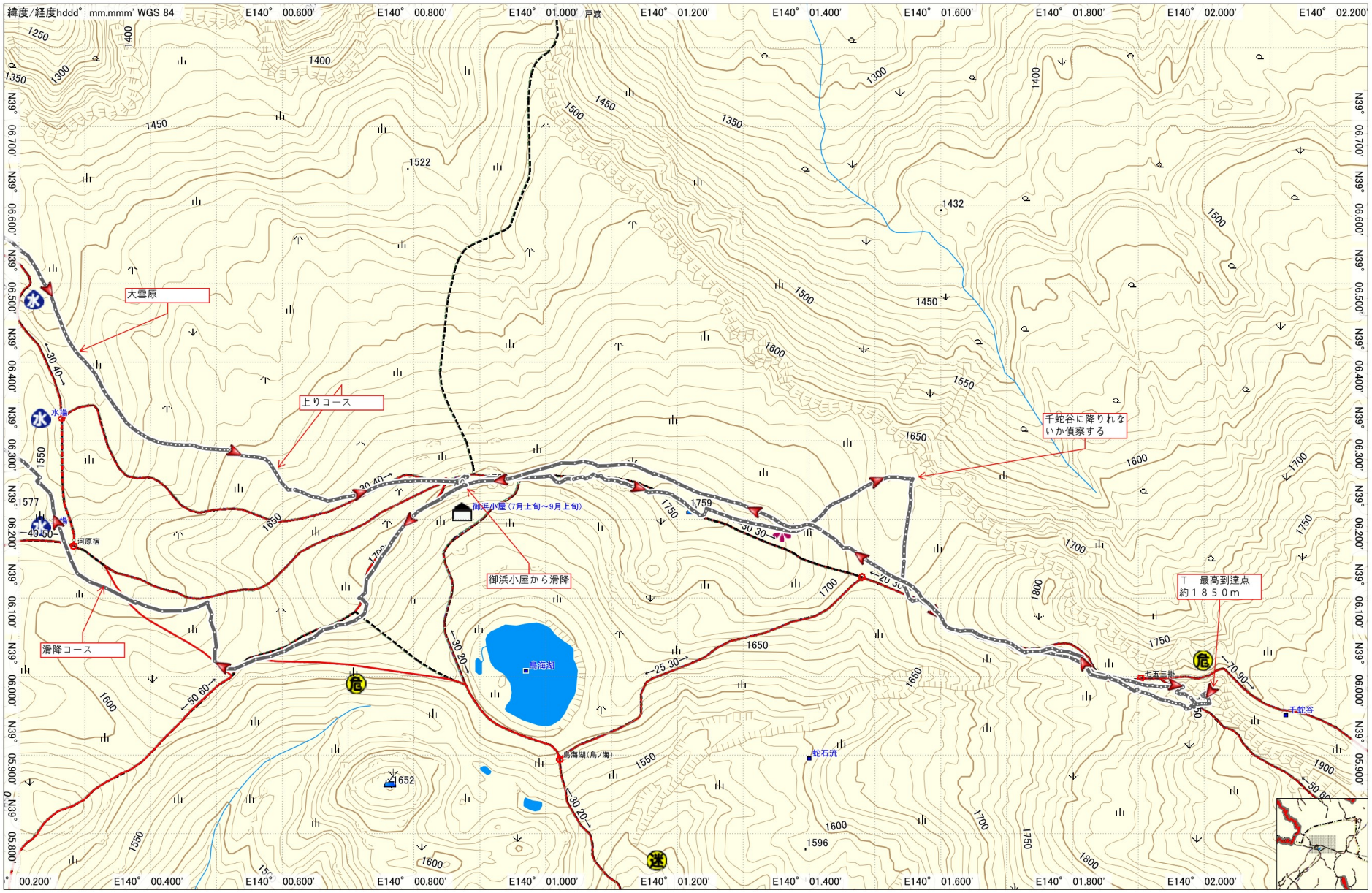
宮城のボーダーさん



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2018/05/02 16:03:01

GARMIN.


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
大雪原
上りコース
水場
河原宿
滑降コース
御浜小屋（7月上旬～9月上旬）
御浜小屋から滑降
鳥海湖
鳥海湖（鳥ノ海）
蛇石流
千蛇谷に降りれないか偵察する
T 最高到達点
約１８５０ｍ
千蛇谷
七五三掛
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2018/05/02 16:03:01
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真　　ＧＴ

山行NO　　ＮＯ．１７９４－２
日　時　　２０１８．０４．２９（日）快晴・上部強風
山　域　　月山（１９８４ｍ）
コース　　姥沢駐車場発７：３０－リフト一発８：１９－雪切れる・スキーデポ一頂上１０：１３－デポ地点滑降開始１１：００－駐車場１２：０４
標高差　　上り　リフト終点約１５００ｍ～月山１９８４ｍ＝約４８４ｍ
　　下り　　〃
参加者　　ＧＴ，ＫＨ

肘折縦走出来ず残念

月山スキーは、２０００年に一度やっていた。ただ、その時は天候が悪く、ホワイトアウトで頂上の社が やっと判別できるくらいだった。
今回、晴天時にもう一度やりたいでやってきた。天気はサイコーだった。
ただ、月山は南面なので、雪はよろしくない。

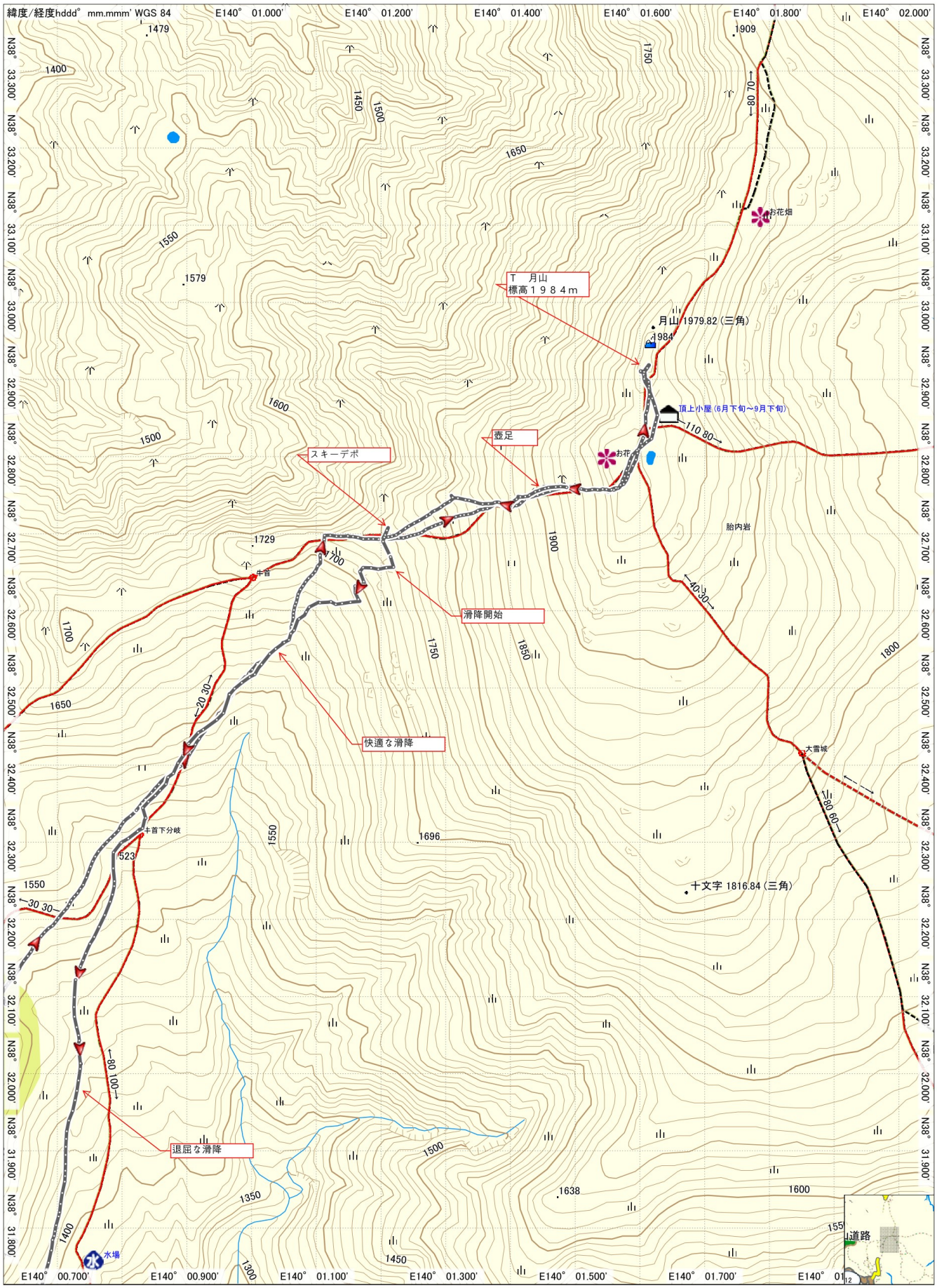
本当は、月山～肘折温泉をやりたかった。しかし、低山故５月では遅くスキーは走らない。
また、リフト利用では遅くなるので、リフト分の標高差＝約２２０ｍ（約１時間）を歩くくらいの気合がないとダメだ。
何故なら、多くのパーティーが肘折到着時、日没で旅館の車に迎えに来て貰うなどの「珍事」もある。時期は林道開通直後がイイだろう。

ハイカー運搬車

昨日、鉾立ヒュッテで一緒だった宇都宮の年配者は、「いいコースなので絶対やるべきだ」といった。ただ、彼らは日帰りでなく、念仏ヶ原小屋泊でやった。しかし、それにも関わらず翌日、肘折温泉着は
夕方だったという。今日、月山で姥ヶ岳西面から志津まで滑るといった。
リフト終点からシールで上る。中にはスキーを背負って壺足の方もいた。右上右上に上って行く。総じて月山はトラバースが多く面白くない。トラバースは上り難い上、滑降も詰まらない。
標高約１７５０ｍでスキーをデポ。ここから壺足で上る。やがて雪は消え、夏道を進む。次第に風が強くなる。前方に頂上の社が見えた。頂上着。風下で休憩と小食。
ゾロゾロ沢山の方が上って来る。

頂上の社

下山。デポ地点から滑降。上部は良かったが下部は退屈なトラバースが続く。本来は姥ヶ岳からゲレンデを滑るべきだろう。
駐車場前で大きな荷物のスキーヤーがいた。聞けば、清川行人小屋から来たという。ただ、この場合何処から来たかだろう。或いは頂上から往復かも知れない。月山南面はもういい。やるなら４月中旬に肘折をやりたいね。

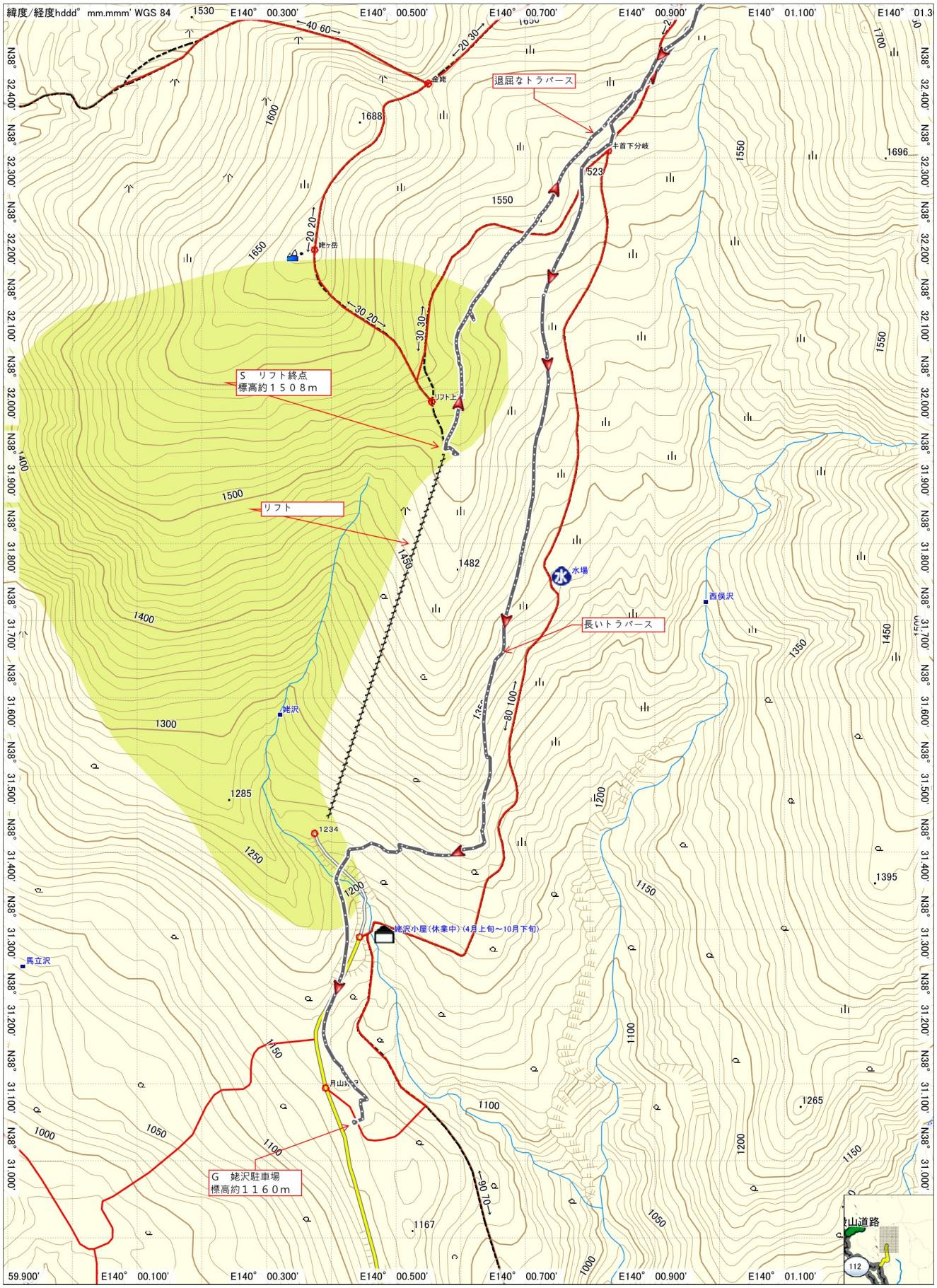


Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMaple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2018/05/02 16:03:01

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN.


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
退屈なトラバース
十首下分岐
金姥
姥ヶ岳
S　リフト終点
標高約１５０８ｍ
リフト上
リフト
水場
長いトラバース
西俣沢
姥沢
姥沢小屋（休業中）（4月上旬～10月下旬）
馬立沢
月山ルート
G　姥沢駐車場
標高約１１６０ｍ
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMaps Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2018/05/02 16:03:01
GARMIN.

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・ＫＨ　　写真　ＫＨ、ＴＧ

山行NO　　ＮＯ．１７９４－３
日　時　　２０１８．０５．０１（火）曇りのち快晴
山　域　　尾瀬・至仏山（２２２８ｍ）
コース　　鳩待峠駐車場発５：１７－鳩待峠―小至仏山―至仏山８：０２－滑降開始８：１５－ワル沢標高約１６００スノーブリッジ９：００－オヤマ沢スノーブリッジ９：１５―岳樺の自然の橋９：４４―ハトマチ沢―鳩待峠下（昼食）－鳩待峠１０：２１―駐車場１０：３５
標高差　　上り　駐車場約１５９０ｍ～至仏山２２２８ｍ＝約６３８ｍ
　　オヤマ沢自然橋約１５００ｍ～鳩待峠約１６１８ｍ＝約１１８ｍ
　　下り　至仏山２２２８ｍ～オヤマ沢自然橋約１５００ｍ＝約７２８ｍ
参加者　　ＧＴ，ＫＨ

上りは、あっけない山だった

尾瀬を代表する高山植物と展望の山、至仏山。２億５千万年以上前にできた尾瀬最古の山で、蛇紋岩の岩肌には特有の貴重な高山植物が多いと文献にあった。初めて登る山である。春遠からじ。然し花の季節はまだ先で、鳩待峠から垣間見る至仏山の大らかな山容はすっぽりと雪に包まれていた。

鳩待峠

これなら滑りが期待できる。胸を高鳴らせながらＡＭ５：１７、鳩待山荘の駐車場を出発。月山でシール登行のあと、板の裏にシールの糊跡がべったり付き、滑らなくて一苦労したので今日は板を背負うことにした。ブナ、ミズナラ、ダケカンバなどの茂る緩やかな雪道をスキー靴で登る。足首が固く違和感があるが歩くのにそれ程負担はない。少しのアップダウンを繰り返しながらグングン登る。黙々と登っているうちに樹林帯を抜け、ひょいと見晴らしのきくトラバース道になった。其の向こうに小至仏の遠望が見える。時折ガスが邪魔をする。

CL の「小至仏の先にある大きい沢を滑るんだが・・・。ガスがあると難しいなぁ・・・。」と呟くのが聞こえた。沢の全容はまだ見えないが、トラバース道から感じることは斜度が結構あるなということ。沢筋の先は山が重なって一本滑りではいかないということ。沢筋から鳩待山荘に通じる夏道に出れるかどうか心配がつきないようだ。笠ケ岳分岐から小至仏山へ抜ける岩稜をアイゼンを軋ませながら登り、一下りして登りつめると目前に岩が積み重なった真ん中に「至仏山山頂」の標識があった。あっという間に登ってしまった。

先客が一人。後続に一人、二人と人数が増える。皆つぼ足だ。
ガスの切れ間に急いで滑ろうと休憩も束の間、身支度を整えいざ出発。
ガスの晴れ間の下界は素晴らしい斜面が眩しく続く。
其の中にＣＬが勇ましく飛び込んだ。「イヤッホー！」の掛け声に私も続く。

　こういう時、ギャラリーがいると余計発奮する。少し大振りに右に左にＳの字を書きながらシュプールを描いた。この瞬間の為に、苦労を厭わず登るんだから思いっきり楽しまなくっちゃねぇ。
「カモシカ」気分になって雪面を限りなく自由に下界へ滑り下りた。登山もいいがスキーは又違った面白さ、楽しさを味わえる。「ヤッホー！」と思う間もなく、標高 1800m。スキー滑降も此処で終了か。「もう終わり？」と何ともあっけなく終わってしまった。此処からヤセ尾根の樹林帯で板を背負って抜け、やっと付

いている雪のブリッジを底が抜けないようにヒヤヒヤしながら対岸に渡る。暫くトラバース気味に歩いていくと夏道と合流。

あぁ～！終わってしまった～！！！

追記（ＧＴ）

１．鳩待駐車場は１日＝２５００―。昔は、２０００－で１０００－のお土産が買えたが、その後お土産は無くなり、２０００－。更にその後、２５００－になったという。

２．２４時前入ると２日分掛かる。係員は１７時下山する。その後なら２４時前でも１日分。

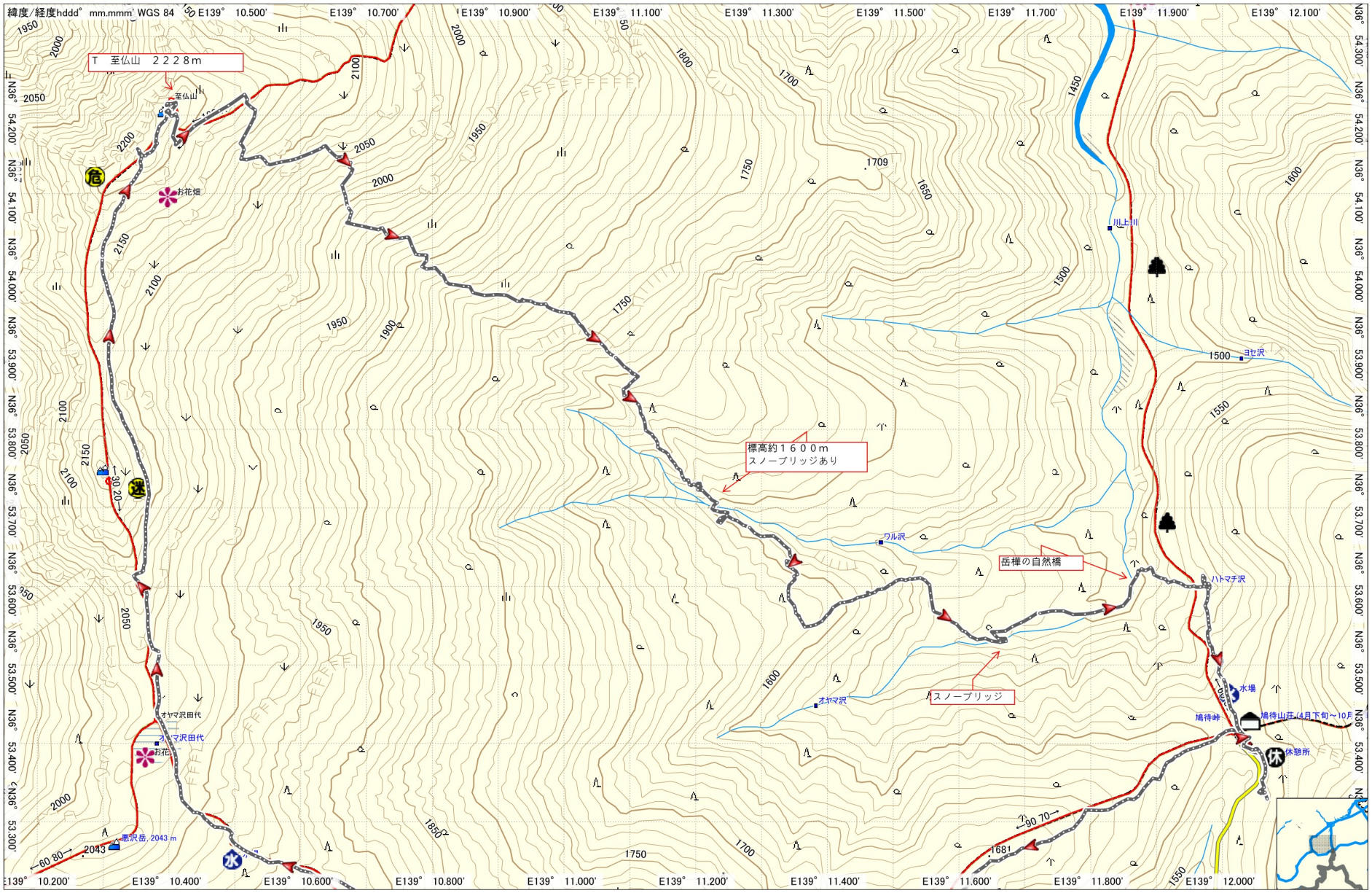
３．係りの方が優しい方、㊙で教えてくれた。

４．２回目のオヤマ沢は、岳樺の自然の橋を渡った。

５．同じスキーコースを、何処かのオジサンが「尻制動（シリセード）」で滑っていた。（笑い）

６．帰路、鳩待峠で「ワサビソフトクリーム」２００－を食べた。

「れいほう」５月号　おわり


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
T 至仏山 2228m
至仏山
お花畑
標高約１６００m
スノーブリッジあり
岳樺の自然橋
スノーブリッジ
ワル沢
オヤマ沢
ハトマチ沢
川上川
ヨセ沢
オヤマ沢田代
オヤマ沢田代
お花
黒沢岳, 2043 m
鳩待峠
水場
鳩待山荘（4月下旬～10月
休憩所
危
迷
水
休
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2018/05/02 16:03:01
GARMIN